

重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に 注意しましょう！！

愛知県では、今年に入り、昨日（7月23日）までに重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者が7名発生しております。

SFTSは、主にSFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。

夏季には農作業やレジャー等でマダニが生息する草むらや藪に入る場面が多くなりますので、肌を露出しない服装にしたり、虫よけ剤を使用するなどマダニに咬まれないよう注意しましょう。

1 2025年の県内におけるSFTS発生状況

	発生届日	年代	性別	居住地	症状等	感染が疑われる行動歴
①	5月12日	70代	男	瀬戸保健所管内	発熱、血小板減少	登山
②	6月3日	50代	女	豊田市保健所管内	発熱、食欲不振	除草作業
③	6月24日	90代	男	豊田市保健所管内	発熱、筋肉痛、食欲不振、倦怠感等	不明
④	7月23日	90代	女	半田保健所管内	発熱	農作業
⑤	7月23日	60代	男	豊田市保健所管内	発熱、頭痛、倦怠感等	農作業 除草作業
⑥	7月23日	70代	男	豊田市保健所管内	発熱、倦怠感、関節痛等	農作業 除草作業
⑦	7月23日	80代	男	豊田市保健所管内	発熱、倦怠感等	農作業

※最新の発生状況は、感染症対策課のホームページ

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kansen-taisaku/sfts.html>) をご覧ください。

2 全国及び県内の SFTS の発生推移

	2020 年	2021 年	2022 年	2023 年	2024 年	2025 年※
全 国	78	110	118	134	120	110
愛知県	0	1	1	1	2	7

※ 全国の発生状況については第 28 週（7/7～7/13：速報値）が、愛知県は 7 月 23 日時点が最新のデータです。

3 SFTS について

主に S F T S ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。

潜伏期間は、6 日～2 週間程度です。

主な症状は発熱、消化器症状（嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血）であり、ときに、頭痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。

血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素の上昇が認められます。

致死率は 10～30 パーセント程度です。

4 予防について

（1）マダニに咬まれないために

- ・草むらや藪などに入る場合は、肌の露出を少なくしましょう（長袖・長ズボンを着用する、足を完全に覆う靴を履く）
- ・虫除け剤（成分に DEET（ディート）やイカリジンを含むもの）を適切に使用しましょう。
- ・屋外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。

（2）マダニに咬まれた場合

- ・マダニに咬まれているのを見つけたときは、無理に引き抜こうとせず、皮膚科などの医療機関で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。
- ・マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱等の症状が認められた場合は、すぐに医療機関を受診しましょう。